

みどり一む 平成 27 年度第 2 回「防災減災講座」レポート

日 時: 2015 年 11 月 21 日(土) 10:00-12:00 場 所: 緑区市民活動支援センター

◆ 主 催: 緑区市民活動支援センター 防災・減災講座実行委員会 記 録: 田中 晃

共 催: まちづくりネットワーク緑、緑区役所

◆ 参加総数: 講師 1 名 + 参加者 50 名 (まちネット 8 名、行政など 3 名を含む)



講師: 平田大二氏

(神奈川県立 生命の星・地球博物館館長)

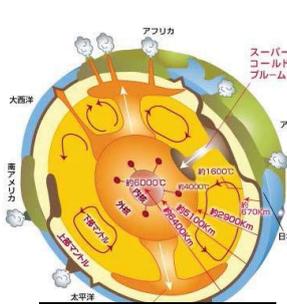


頼政係長挨拶
正しい知識で正しく恐れる

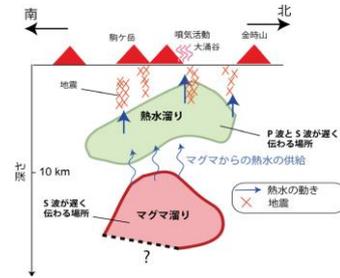


司会の池田氏

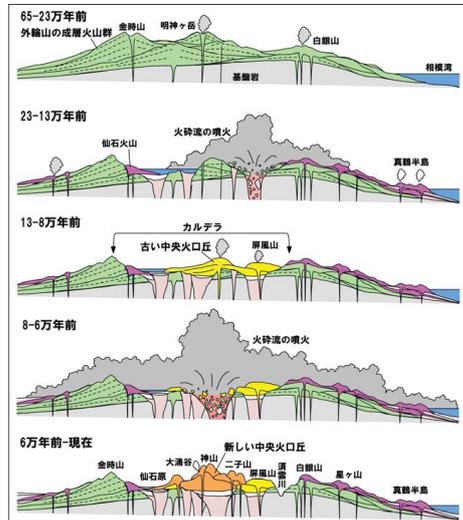
テーマ: 神奈川で起こった火山噴火と災害



地球の内部構造



箱根の地下構造の模式



火山とは:

- ・地球の内部の岩石がとけてマグマになり、マグマや蒸気が噴出する場所、
- ・地球中心の温度は 6000 度
- ・日本国内の活火山は 110 山
- ・世界の活火山の数 約 1500 山
- ・大地震は 200 年に 1 回は起きる

噴火警戒レベルが出ている各地の火山

噴火警戒レベル	火山の活動状況	住民らの行動	登山者への対応
レベル1 (平常)	静穏	通常の生活	特になし
レベル2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響	通常の生活	火口周辺の立ち入り規制
レベル3 (入山規制)	居住地近くまで重大な影響	今後の火山活動に注意	入山規制
レベル4 (避難準備)	居住地に重大な被害の可能性	避難準備	
レベル5 (避難)	居住地に重大な被害	避難	

▲レベル3 ▲レベル2 ▲レベル1 (平常) ▲レベル4 ▲レベル5

●気象庁が注意を呼びかけている火山 (現時点では噴火警戒レベルの対象外)

▲阿蘇山 (新燃岳) ▲霧島山 ▲桜島 ▲口永良部島 ▲諏訪之瀬島

11月20日箱根の警戒レベルを2から1へ(上図)

富士山の歴史時代の主な噴火 (小山真人による)

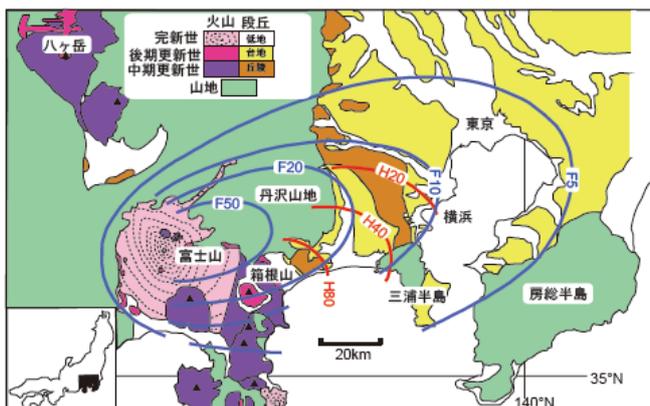
西暦年代	活動の種類	古記録の記載事項(抜粋)
781	噴火	山麓に降灰し、木の葉が枯れた(続日本紀)
800~802	延層噴火	砕石が足柄路を塞いだので箱根路を開いた(日本紀略)
864~866	貞観噴火	溶岩流が本栖湖と「せのうみ」に流れ込んだ(日本三代実録)
937	噴火	溶岩流が未知の湖を埋めた(日本紀略など)
999	噴火	噴火(本朝世紀)
1020	噴気と火映現象	山頂から煙が立ちのぼり、夜には炎が見えた(更級日記)
1033	噴火	溶岩流が山麓に達した(日本紀略)
1083	噴火	爆発的な噴火(扶桑略記など)
1435	噴火	富士山に炎が見えた(王代記)
1511	噴火	河口湖付近で異様な鳴動が聞こえ、鎌岩が燃えた(妙法寺記)
1704	鳴動	元禄関東地震の35日後から4日間にわたって富士山が鳴った(大泉寺文書)
1707	宝永噴火	宝永東海地震の49日後から2週間にわたって爆発的な噴火が生じた(史料多数)

どうしてこうなったのか現象を調べよう

- 箱根火山の防災対策
- 「箱根町火山防災マップ」を活用しよう
- ★御嶽山の事例では山の上であり、灰の他噴石が降り、どこに避難するかにより、生死を分けた。

■天災は忘れたころにやってくる
■備えあれば、憂いなし
■自分の身は、自分で守る

★過去を調べ、現在に学び、地域で考え、将来に備える



富士火山(F)と箱根火山(H)から噴出した火山灰層の厚さ
生命の星・地球博物館 (2010)

防災・減災講座 27.11.21 10時～12時

アンケート結果 42名 参加者 50名（神奈川新聞記者1名、まちネット8名含む）

設問 1. 今日の講座について参考になりましたか？（42）

とても参考になった	40	普通	1	わからない、未記入	1
-----------	----	----	---	-----------	---

設問 2. 今日の講座で印象に残ったこと？

1) 身近に存在する火山、富士山・箱根の知識を吸収できた 17件

- ・火山の成り立ちの仕組み、噴火の種類、噴出した火山灰層、マントル・コア等が分かった。
- ・富士火山と箱根火山の形成と地下構造を、画像を見ながら楽しく聞くことが出来た。

2) 火山災害 7件

- ・火山活動は地球の営みで止められなく長い年月で継続。何が起きるか分からない！
- ・箱根山が何万年もかけて噴火してできた事が分かった。その他、富士山の歴史も

3) 自然災害への備え 6件

- ・降灰と火山弾の被害予想に、どう備えていいのかわからないのが不安。
- ・火山のある日本に生まれたことを覚悟する大切さを感じた。

4) 勉強になった事例 5件

- ・大陸の移動は爪が伸びるのと同じスピード。
- ・火山灰は雪と違って溶けないという事を知り、火山の噴火による災害も考えなければならない。
- ・地震波で地球の内部が分かる（熱いところと冷たいところの差をみる）

5) 災害への備え 10件

- ・地域のつながり＝防災、対岸の火事でなく自分の事として考える事も必要
- ・起きことを想定して、あらかじめ瞬間的に、どちらへ逃げるか考えておく

設問 3. 防災・減災の講演会で、取り上げてほしい内容がありますか？（複数回答 122件）

地震全般	6	火災について	10	災害避難所について	13
首都圏直下地震	25	液状化現象について	8	防災訓練について	11
災害要援護者対策について	10	南海トラフ地震	8	帰宅困難者対策	6
耐震化について	11	家具転倒防止について	5	津波5・水害2・原発・竜巻	9

設問 4. 防災・減災について、あなたのご意見をご自由に記入ください

- 1) 災害への心構え：メカニズムを正しく知ること。知らなければあわてるだけで対策が打てない
- 2) 災害に備える：災害がおこった時、まずどうするか、最悪のシナリオを考えておく
まず身を守ることが大切、それからすべてが始まる。
- 3) 地域の取組：隣近所の助け合いが大切。若い世代も参加してほしい。

設問 5. この講座を何で知りましたか？（59）

チラシ：みどりーむ	15	みどりーむからDM案内	11	自治会からの案内	2
チラシ：区役所	4	タウンニュース	5	チラシ JR 駅（4 駅）	3
友人からの誘い	8	チラシ地区センター	3	緑区ホームページ他	8

お住まい（32）：中山町6名、寺山町・青砥町・霧が丘・東本郷・三保町：各3名、長津田みなみ台・白山：各2名、1名（森の台、鴨居、霧が丘、北八朔、台村）区外3名、空2名
「防災・減災講座の案内」の希望者・・・10名

以上